



— 温かい家庭で、明るく お逢者で —

川口町



第115号

発行人 古田島 正

印刷所 山崎堂印刷所

町の人口(8月末)

世帯数	1,522 (-1)
人口	3,454 (+13)
男	3,561 (-2)
女	7,015 (+11)
計	( )は6月末との比較

燦たり和南津地区館

町民体育祭盛會裡に終了

全町民の健康増進と、各地区館建設のために、この町民体育祭を相互の親善と融和を図る大きな目的をもって開催されるこの体育祭は年々参加者の層が厚くなり、その主旨が全町民に浸透しつつあることは喜ばしいことである。スポーツの生活化、生活のスポーツ化と言われている昨今お互いに「幸福の基礎」である心身の鍛錬に積極的に取り組んでゆきたいものである。

八月二十二日午前九時十分川口小学校校庭の先導により七地区館チームの、選手団四百二十八名の堂々たる入場行進は、実に力強くその意気盛にけん高であり川口町発展の息吹がひしひしと迫るのを感じたのは記者一人ではなかったかと思ふ。

町民体育祭会長星野町長開会のあいさつに、「豊かで健康な郷土



実力中の熱戦の結果、川口地区館は三年連続優勝の輝やかしい記録を樹立、真紅の優勝旗を他チームに譲らなかつた。

本大会に寄せられた関係者各位の協力と競技役員の方々の努力に対し感謝の意を表し、来年の体育祭を更に有意義なものとして開催できるように心からお願ひしたい。各地区館の成績は次のとおり

一位	川口地区館	一六五点
二位	和南津	一六三點
三位	田山	一六一點
四位	西川	一三八點
五位	中山	一八八點
六位	泉水	一五五點
七位	木沢	一〇六點

健全娯楽を振興しよう

町長杯争奪囲碁将棋大会

昭和四十六年度町長杯争奪囲碁将棋大会は、八月二十九日午前九時二十分から総合福祉センターで、囲碁はA級とC級、将棋は松竹梅月組に分けて行われた。

一開碁の部では、平沢良雄(相川)が星野一(木沢)佐藤康(川岸町)の強豪を相手に好調に勝ち得意の布石で、B級で一位、総合においても見事優勝した。一将棋の部では、大瀬幸一(野田)が三年連続優勝をねらい、注目されたが健闘むなしく、梅組三位にとどまった。昨年度優勝の上村功(東部)は千想通り、松組で一位、決定戦では喜多村吉平(上ヶ原)梅組一位と対戦、好試合の結果、見事初の総合優勝を飾った。

又本大会初出場の中学校が、ベテランを相手に堂々と勝ち、月組で渡辺猛一位、内藤嘉文二位、宮孝治一位といずれも川口中が上位を独占大会を盛り上げた。

◇囲碁の部

総合優勝	平沢 良雄
A級一位	星野 一
二位	江口 慶吉
三位	小山 茂
B級一位	平沢 良雄
二位	鈴木 庄栄
三位	山吉 康三
C級一位	大瀬 幸一
二位	鈴木 六郎

◇将棋の部

総合優勝	上村 功
一位	上村 功
二位	山田 健吉
三位	三浦 敬一
竹組一位	関 和雄
二位	岡村 徹雄
三位	目黒 幸夫
梅組一位	喜多村吉平
二位	大瀬 幸一
三位	星野 登吉
月組一位	渡辺 猛
二位	内藤 嘉文
三位	宮 孝治



交通安全教育

交通安全教育 センター 建設始まる

毎日交通事故のニュースのない日がない現状から、児童生徒に交通安全訓練を行い、安全に行動できる能力、態度を身につけさせる。交通安全の防止を図ろうと川口小学校敷地内に、六〇〇坪の交通安全教育センターを建設することとなった。文部省に於てもこの種の施設に対し補助金を交付し各市町村に設置を呼びかけている。

この施設が有効に使用されるよう施設のない隣接町村にも利用出来るよう建設に当たっての要件としている。その他この施設に次のような設備をしなければならないことになった。

- 一、補装道路
- 二、歩道
- 三、横断歩道
- 四、見通し不明箇所
- 五、踏切
- 六、センター外壁
- 七、交通信号機
- 八、踏切警報機
- 九、踏切遮断機
- 十、踏切遮断機
- 十一、踏切遮断機
- 十二、踏切遮断機
- 十三、踏切遮断機
- 十四、踏切遮断機
- 十五、踏切遮断機
- 十六、踏切遮断機
- 十七、踏切遮断機
- 十八、踏切遮断機
- 十九、踏切遮断機
- 二十、踏切遮断機

文部省が補助対象としてのこれ等設備要件の他川口町は自転車の乗り方講習場も併せて作る事となつてゐる。この建設に当っては同校PTAのリーダーの方々の並々ならぬ努力が結実したものである。

「敬老の日」によせて

川口町長 星野 輝 政

一九七〇年代の課題は、近年における日本の社会経済情勢の急速な進展に伴ない、過密過速を中心とする地域問題をはじめ、住民生活に關連をもっている社会資本の立遅れから、公費、物價、交通安全、農政や教育等社会福祉につながる諸問題を解決してゆかなければならないと思ふ。とくに今後高齢化してゆく社会にあって、老人の医療、年金、老後の生活環境等、総合的な福祉対策を、積極的に進めてゆかなければならないと考へます。

豊後地帯、あるいはへき地における医師の確保は極めて困難であります。幸い川口町におきましては佐藤・栗原高先生の理解ある御協力によって医療行政においても万全を期しておりますことは皆様と共に感謝しているところであります。

90才以上の長寿者

上河原 喜多村タノ90才  
相川2 井浦次郎作90才  
荒屋 星野タマ93才



人間はだれでも健康で文化的な生活をいとなむことを希求し努力をしているわけでありませぬ。老後の生活も又、健全安らかなものでなければならぬことは今さら申し上げるまでもありません。

古来親は子供を養育し、健全に育て、子供が成人になると当然のことながら、親は老令化してゆき、子供は親の安らかなることにとめるといふことが定義であつた。

戦後家族制度や社会構造の變革によつて、後段の考え方はうすらいで来たように思われます。

愛の献血

ありがとう

去る八月の「献血」には、実に百三十八名の方がおいでいただきました。予想以上の多数の皆さんへの協力に、口感謝の他ありません。厚くお礼申し上げます。

年毎に需要の増す血液は未だ代用する何物も無く、人の愛によつてのみ人命が救われています。次回の「献血」は十月十五日に予定してあります。

火急のときの準備に、一冊一冊以上の献血手帳を備えて、保存血液の優先権を保留して下さい。

ワイル病について

八月三十一日町内在住の方がワイル病にかかりました。

この病は、この病気の菌をもっている鼠の小便から人間の口、鼻孔、傷口などから入る病気で、人が人からにはうつりません。また発見が早ければ充分治る病気です。

このような病気がからないように、先づ鼠の住みにくい環境を作りましょう。また、健康がすぐれないときは、がまんしないで早く医師に診てもらいましょう。

間もなく秋の鼠駆除の時期になります。お互の健康のためにも配布の葉は必ず鼠に仕掛けて下さい。





### ますます元気で サークル活動

九月十五日は敬老の日

「まだまだ若いもんには負けやおられん」と、直接自分たちに関係の深い老人医療の勉強をしたり、囲碁・将棋で戦い、あるいは公民館の映画で勉強し、そのあと風呂で疲れをいやす。どこからかすがすがしい謡曲のメロディーが流れ出した。ある日の総合福祉センターでのひとこまである。

毎月、十日・二十日の二回こうした活発なおとしよりの自主的な活動が行なわれている。

また、町の民謡研究会が、直接・間接にこのような自主的な活動や、各種の催しを大きく盛り上げていくことに注力している。

町では、七十才以上の敬老該当者が、九月十五日現在で四三三人となっており、うち九十才以上の長寿者が写真のように三人で、人の手をかりずそれぞれ元気な毎日を送りだされている。

ことしも、町から七十才以上の方に心づくしのお祝いが贈られ、七十五才以上の方には県から祝賀が贈られ敬老の日には総合福祉センターで楽しいおとしよりの集いが催された。

町から敬老該当者として祝賀される方々は、地区別では次のとおり。

和南津地区 四四人  
中山地区 四七人



老人検診(老人憩の間)

東川口地区 五七人  
西川口地区 九九人  
泉水地区 七一人  
田楽山地区 七七人  
木沢地区 三八人  
合計 四三三人

おとしよりに対する老後の保障あるいは医療の問題は、国や県はもちろぬ、町でも真剣に検討され、その具体的な現われが着々と実を結んでいくが、まだまだ研究の余地は極めて多い。

とりわけ、おとしよりのいられるそれだけの家庭では、直接関係するだけに寄せる期待は大きい。「九月十五日」、この日かみんなの努力により意義の深い価値ある日として送られたであろうか。ふり返って反省してみたい。

### 新しい税金

#### 自動車重量税とは

本年度から実施されることになった、新税の自動車重量税については、自動車の走行、道路の建設改良、維持をはじめ、社会に多くの費用をもちたしております。国では第六次道路整備計画を主とする交通上の所要の施策のための財源として広く自動車の利用者に対して負担を求めようとする結果創設されたものと云われております。

こゝに新税の概要の一部を参考までに掲載いたします。

(1) 課税対象  
課税対象は、車検を受ける自動車および使用の届出を行なう軽自動車であり例えは原動機は自動車(排気量125CC以下のもの)は課税の対象になりません。

(2) 納税義務者  
納税義務者は、自動車について、自動車の検査証の交付を受ける者および軽自動車については、使用の届出をして車輛番号の指定を受けた者です。

(3) 課税標準と税率  
自動車重量税はその名の示すように、自動車の区分別にその重量に応じて税率が定められております。

(4) 非課税  
道路運送車輛法という自動車の範囲は広く、そのうち次のものについては課税されないものであります。

第一は大型特殊自動車です。これにはカトラクターを有する自動車、ロードローラー、ロード・スタバイザー、グレーダー、農耕用トラクター等があります。

第二は、すでに車輛番号の指定を受けたことのある軽自動車です。

#### 農地法の一部改正

昨年十月一日から農地法の一部が改正されました。その中で従来からの小作料の一筆単位の最高額統制制度が廃止され、小作料については新たにその標準額の設定制が設けられました。ただし改正法の施行日(昭和四十五年十月一日)現在の小作地で個人が耕作するものについては、なお十年間小

### 児童手当 制 度

について

児童手当制度は、わが国社会保険制度のなかでまだ実現していない唯一の制度でしたが、いよいよ明年一月から実施されることになりました。

この制度のおもな点について紹介します。

1. 制度の目的  
児童の育成の場である家庭における生活の安定、次世代の社会をなす児童の健全な育成と資質の向上をはかることを目的としています。

2. 支給を受けられる人と手当の額  
十八才未満の児童を三人以上養育している者に対して、三人目以降の児童で義務教育終了前のものでつき月額三〇〇〇円の児童手当が支給されます。

なお支給の対象となる三人

### 秋の全国交通安全運動

9月27日～10月7日

。飲酒運転の絶滅  
。子どもと老人の事故防止

◎事故なくす、きめては二つ無理するな

車種別	車両重量	負担額
(1) 自家用乗用者 2年ごとにくる車検の際に課税	バブリカ1000スタンダードK P 30 コロナ1500スタンダードRT 80 セドリック・パーソナルH130 S センチュリーDタイプ・VG 20-D ベンツ300SEL 35 リンカーンコンチネンタル ホンダドリームCB750	665 Kg 10,000円 905 10,000 1,260 15,000 1,870 20,000 1,670 20,000 2,293 25,000 — 3,000
(2) 営業用乗用車 1年ごとにくる車検の際に課税	クラウンスタンダードRS50	1,205 7,500
(3) トラック 1年ごとにくる車検の際に課税	いすゞライトエルフ1.5トン積トラック 日野KB341、8トン積トラック	2,980 7,500 14,250 37,500
(4) バス 1年ごとにくる車検の際に課税	いすゞ、15人乗マイクロバス 日野RD100、71人乗路線バス	2,760 7,500 10,425 27,500
(5) 軽自動車 新車の届出の際に課税	ホンダN 360デラックス ホンダドリームCB250	— 7,500 — 4,000

第三が臨時検査の結果、返付を受ける自動車検査証の有効期間が検査前の有効期間から延長されることにより、小作料を決定しました。尚くわしくは町農業委員会におたずね下さい。

10a 当りの収量	15500円
490 K以上	15500円
450 K	11,500円
420 K以下	7,500円

10a 当りの収量は町農業共済事業の基準収量による。

### 学資保険など 新種保険を新発売!

郵便局の簡易保険。では、九月一日から新しく、お子さまの学資の準備に役立つ「学資保険」と「老後のためのしめつけお祝い」の二種を新発売いたします。

「特別終身保険」を発売していただきます。この二種は次の種類に属する保険に属するものとされています。

○学資保険  
進学年令に合わせて満期になっています。高校進学年令として、十五才満期学資保険、大学進学年令として、十八才満期学資保険があります。加入年令は被保険者が、本才から十才まで契約者が二十才から五十才までとなっています。

○特別終身保険  
保険金は進学年令に配当金を加えて支払います。十五才満期学資保険は高校生入学生年令である十才時に保険金に配当金を加えて支払います。十八才満期学資保険は高校生入学生年令の十五才時に保険金の一部を大学入学生時の満期時に残りの九割に配当金を加えて支払います。契約者に万一(死亡)のことがあったときは、それ以降の保険料払い込みは要しませんが、保険金は全額保障します。

○特別終身保険  
加入年令は十五才から六十五才となっています。

○学資保険  
保険料は込み期間は十年です。加入してから十年後に、保険金の二割、二十年後に保険金の三割を、お祝いとして支払います。もし万一のときは保険金の全額(ただし、すでにお祝金を支払った後であればその分を差引いた額)を支払います。

○「学資保険」「特別終身保険」とも傷害特約付です。被保険者が交通事故や思わぬ災害で死亡したときは保険金の三倍、身体に障害を生じたときは、その程度に応じて保険金の全額から一定の傷害保険金、傷害を治療するために五日以上入院したときは入院保険金(一保険金の千分の一かける入院日数(百二十日まで))を支払います。

なおこれらの簡易生命保険事業の資金は地方行政の運営の一環として効率的に運用され地域開発に大いに役立っています。川口町においても、これ等の資金で簡易水道事業、ガス事業、学校建設事業、公営住宅建設事業等の建設事業が実施されております。本年度におきましては相川方面が拡張事業の資金として二〇〇〇千円を利用することが決定されています。このようにこの資金は、みなさんの生活向上のために運用されています。

### 稲わら焼却 による 煙害の防止 について

稲わらは、貴重な有機質資源であるので、極力、焼却せずには燃やさないようにする。

一、完全堆肥として施用すること  
が最も望ましいが、労力等事情により難しい場合は、集めて粗糞堆肥とするのも改善の策である。この場合、乾燥しないよう踏みつけ、また石灰窒素を添加(一〇パーセント)するなどして分解を助長する。

二、どうしても堆肥にすることができない場合、乾出では生わら施用をすることができず、この場合は、カッターで細断し、早目に土壌にすきこむようにする。湿田(冷水田、腐植多田など)では根ぐされの危険があるので施用しない。

三、やむなく焼却する場合は、天候を考慮して日中、よく乾いたわらを少量ずつ焼却するなど焼却発生しないよう十分注意をはかる。

四、焼却は広範囲の住民に迷惑をおよぼし、また交通障害など社会的影響が大きいので、農家個々が十分注意を払い、稲わら焼却を自粛することが望ましい。

――企画課――

### 議会だより

第五回臨時会 八月十一日

会議事件

。専決処分事項の承認を求めることについて 承認

。工事請負契約の締結について 同意

。昭和四十六年度一般会計補正予算(第三) 可決

専決処分は、簡易水道事業会計の補正予算で、西川口水道工事の補助金の増額に関する専決を承認が求められたものです。

工事請負契約は、相川地区ガス供給工事と野野野と契約を結び、ごとき提案されたものです。

議会の同意によって工事は八月二十日から着工されました。

一般会計の補正予算では、木沢小学校給水設備工事費が一三三万円、川口小学校に建設する交通安全教育センターの工事費二〇〇万円が計上されました。一般会計の子算額はこれで三億四千九百万円となりました。

第六回臨時会 八月三十一日

。助役の選任について 同意

。石坂公平助役を再任することについて 議決が求められ同意されました。





# 待望久し 西川口保育所竣工

かわい子どもたちが、大きな目を輝かせてとびまわ。みんな夢をみてのような顔をして。開設当初から部落の公民館(旧西川口小学校校舎内運動場)に間借り、暗くてがらんとした中で不自由な保育生活を経験してきたけれど、どの顔もその喜びはかくしきれない。

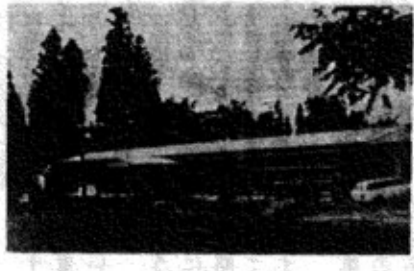
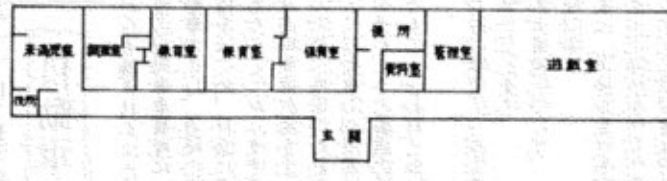
場所は、西川口の中心部、部落公民館のすぐ前。建築費一、二〇〇万円。長岡のワケズ建築事務所設計により、西川口の川西木工所の請負で、五月二十日から工事を進めてきたもの。

来春四月からは、東部保育所と同じように常設保育所としてスタートする。

構造は、木造平屋建て。延面積三三〇・五五平方米。

明るく保育所らしい色彩をよりよく調和させて、いたれりつくせりのこまかい配慮がなされ、近隣にみられないデラックスな保育所となった。

保育所の使命は大きく、将来の町をささえる人づくりの根元でもあるだけに、福祉町としての力強いあゆみが、更に大きく前進したともいえる。

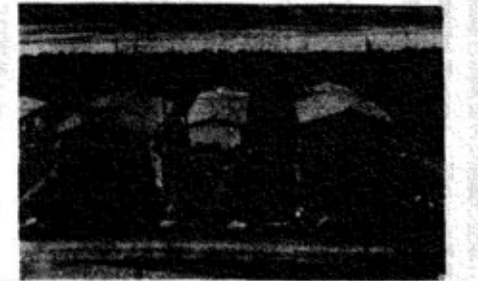


西川口保育所

### 町営住宅が完成します

建築費約八百四十万円で建設を急いでいる町営住宅が本月末までに完成します。

で完成します。建設地は町営住宅大島団地内で六月から吉田工業が工事を進めていますが九月末までに完成し、十月に入居できる予定です。事業の財源は、因からの補助金三百十万円、積債二百六十万円が見込まれています。建物は耐震耐火構造二階建て一棟二戸建てと一棟三戸建ての二棟五戸です。内部は一階が台所、食事室、浴室、二階は六畳一間、三畳一間でガス水道施設が備わります。家賃を決定しだ入居者を募集します。町営住宅大島団地は、この建物が完成すると現在の二十戸と合わせて二十五戸の団地になります。



## 木沢集落開発センター 建設工事始まる

町ではこのたび昭和四十六年度県農林水産業総合開発事業として木沢部落の高台地に集落開発センターを建設中です。

この開発センターは地域住民の生活環境の整備、改善をはかり、明るく村づくりに運動を推進し、住民福祉の向上をはかることを目的として各種研修会、講習会、講習会を始めとして懇話会、集会、及び冠婚葬祭も出来る施設を準備した設計内容となっております。十月末日には立派に竣工し、充分の利用を期待しています。

一 工事概要

二 木造二階建 一〇八・七〇㎡

三 会議室(研修室) 二階

集会場 一階

料理講習室 一階

研修室 二階

二階

### 石坂助役を再任

町では任期が満了となった助役石坂久平氏を再任することにし、八月三十一日の臨時議会で再任の同意を受けたので再任しました。

経歴

大正5年9月30日生 相一

昭和21年5月町代議員 昭和24年3月から収入役を二期、昭和42年9月から助役二期。

### 叙位叙勲

故小宮山賢吉氏

故横山 正氏

なくなられた小宮山賢吉氏と横山正氏の生前の功績が国によって認められ、このたびの功績が認められ、叙位叙勲が行われました。

故小宮山賢吉氏

六月十五日死亡 新敷

議会議長、土地改良区理事長西川口雄代、五十九才。

永年の地方自治に対する功績が認められたもの。

従七位 勲六等瑞宝章

故横山 正氏

七月二十八日死亡 川岸町

守門村高倉小学校教頭

昭和三十三年から昭和四十一年まで、西川口小学校及び和南津小学校に勤務、四十九才。

永年にわたる学校教育に対する功績が認められたもの。



ご挨拶(会議録より)

ただいまご同意を頂きましたので一言ご挨拶申し上げます。

もとより御力でございまして本当に感謝している次第であり、すが、今後また皆さんの特段のご指導とご鞭撻がなければ、この職務を遂行することが出来ないと考えております。変りないご支援をいただき、町の発展のために最善を尽くしたいと存じます。

よろしくお願いたします。

### 民族資料の集収

急速に進化する社会構造、それに伴う生活様式の変化、私共を取りまく情勢は実に目まぐるしくゆれ動いている。

この過渡期において、失われがちな、古代の民族資料を保存し、私共の祖先が困苦に堪え、郷土開発に努力して来た生活様式、時代の風習等歴史的资料を収集し、祖先の苦辛を忘れ、長く後世に伝えたい。

これは現代に生きる私共の務めではなからうか。公民館では将来民族資料館を建設する計画を進めている。尚文化財調査委員会を構成し、町内の埋もれた文化財を発掘することに着手した。私共の身辺にある、古代の生活用具、器具がありましたら公民館にご一報願いたい。

## 「家庭児童相談室」開設される

小出町・社会福祉事務所内に

かわい子どもが、心身ともに健やかに成長しよう願う心はだれも同じです。

現在のようには、経済的な発展をみるこゝろが、文化国家を口にし、耳にする反面、複雑化してきたともいわれている社会情勢の中では、親も子もときには不安や迷いを生ずることも決してないとはいえないでしょう。

子どもたちの健全な育成をほむいろいろの問題が、いたるところに横たわっていることを見のがすわけにはいきません。

家庭内では解決できそうもないと思われる事例が生じましたら、各地区の民生委員や役場を通じて大いに活用されるようご案内します。

◎相談日 毎日(十時半の午後日曜を除く)

(くわしい案内は、各部落へ回覧でお願ひしてあります。)

—住民課—

## 県勤労者住宅資金の融資

九月一日から第二次受付

県は、四十六年度第二次の勤労者住宅資金融資の申込みを九月一日から、九月三十日まで、第四北越、新潟相互、大光相互の各銀行の本・支店に受け付ける。

## 川口町PTA研究会より

去る八月一日 田麦山小・中学校を会場にして川口町PTA研究会が開催された。来賓にもかかわらず、二百有余人の参加者は終日熱心に討議し、有意義な一日を過ごした。当日の様子を記録からひろってみる。

◆今年度の研究主題  
「児童・生徒を健全に成長させるためには、どうすればよいか。」

◆この主題を受け、五分科会が設けられた。

◆五分科会  
「学校と家庭が協力するにはどうすればよいか。」(たくまし)

◆子どもを育てる) :

・子どもとの対話を密にし、今子どもが何を学んでいるか、学校で何をしているのかよく理解する。

・PTA便りやその他広報紙によく目を通し現状を正しくは捉える。

・参観日等に学校を訪問し、教師との対話を深め、何でも話しあえるようにする。

◆二分科会  
「子どもの養育、親子のふれあい等」

◆家庭の教育を充実するにはどうすればよいか。」

◆融資対象者  
自分で住むための住宅を新築増築または購入しようとする勤労者。

◆貸付条件  
◎貸付金額・三十万円以上七十万円までの十割以内の額。利率・年九・一パーセント。

◆借還方法・十年以内の元金均等月賦償還

◆住宅金融公庫融資の併用もできます。

◆申込み方法その他詳しいことは県労政課、労政事務所または取扱金融機関へたずねてください。(県労政課)

◆交通のきまりは、いつでもどこでも守るよう喚びなければならぬ。

◆子どもの性格をよく知る必要がある。

◆「進路指導をすすめるにはどうすればよいか」(進路の決定、受験期の子どもの扱い等)

◆子どもの能力、適性を家庭でも正しく把握する努力をすることが大切。

◆進路指導は子どもだけでなく保護者にもする必要がある。

◆親の仕事の内容をよく理解させ、認識させる手だてを講ずることも必要。

◆中学校にはいつからの進路指導をおそく、小学校段階に即した指導をはじめることが大切である。

◆「児童・生徒を健全に育成するためには、家庭、学校、地域はどうすればよいか。」

◆このことについては、道徳、安全、純潔教育等、各家庭でもっと真剣に考える必要があることが強調された。

◆総合指導として、川口中学校北原校長先生から、「子どもをもっときびしく養育すること、それには親も努力しなければいけない」との指導があり、閉会となった。

## 事故は減っている

前年の約半数

27日から秋の交通安全運動がはじまる。

依然としてへらない飲酒運転と子どもと老人の事故防止が重点である。

さて管内は、昨年に比べ発生件数は約半分に減少している。ドライバーの安全運転が直接の原因であるが、歩行者のマナーや関係者の努力も忘れてならない貴重なものといえよう。このままの状態を年末まで行きたいものである。

八月末で人身事故二十八件の発生をみているが、昨年は八月末ですでに五〇件を超えていた。

警察の強力な取締りと指導、協会の積極的な活動は今後も続けられようが、これをまっすぐでもなくひとりとひとりが事故防止運動の主人公であるという気持ちはよりよい結果をもたらすことを忘れてはならない。

## 260人が受講 第一回の運転者講習会

町の交通安全協会は、ことしの事業の重点に運転者の研修をあげた。その第一回の計画をさる七月三日に小千谷警察署の白倉交通課長を講師としてたつぷり二時間講習会を実施した。講師のユーモラスな講演にたいさも忘れ、受講者は最後までしんけんだった。

第二回は十月下旬を予定しているが、協会ではおとせいの参加をねがっている。

## 水洗便所をつくるべき

届けが必要

最近、家庭でも衛生面を考え、水洗便所がつけられていますが、つくる前に役場・保健所への届けが必要ですが、忘れずに届けられるよう、お知らせします。

(土木課)





# 川口町農業青少年 クラブ誕生

## がんばれ農業後継者

八月十日、町総合福祉センターにおいて町内の農業後継者二十五名が集まり農業青少年クラブを結成しました。このクラブはまきびしい農政事情の中で農業の改良や生活改善を通じて豊かな農村生活を送ろうとする新しい村づくりの推進力になろうと結成されたもので当日は入田農業改良普及所長はじめ町では石坂助役、星野組舎長、教育長の祝辞に続き員之沢地区の江島誠君を議長に選び協議がすめられ結成までの経過や規約事業計画を決め役員を選出を行ったあと先鋒格の西倉四日クラブ員との交歓会をうじて今後の事業の提携を確約しあっています。これは農政問題討論会視察研修会又試験発表会、交歓会等であり現クラブ員は全町の農業青少年に呼びかけ皆んなで手をつなぎこれからの事業をつうじて地域農業の発展に取り組みようとしてい

## クラブ誕生

と話していた。  
役員のお名前は次のとおり  
会長 江島 誠 員之沢  
副会長 桜井 幸良 大形  
会計 森山 島 大形  
書記 小川 昭一 大形  
監事 小林 茂 木沢  
監事 星野 武男 木沢  
監事 坂井 正道 田中  
広報係 浦井 清嗣 前原  
地区理事 笹崎 恭一 川口  
地区理事 佐藤 文吾 川口  
事務局 佐藤 文吾 川口

## 消防演習 挙行される

川口町消防団秋季消防大演習は、来賓各位が多数臨席し、見守る中、去る八月十六日、団員三百名、自動車ポンプ二台、可搬動力ポンプ十八台が参加して、川口中学校において挙行された。  
点検者である町長より、姿勢、服装、機械器具の点検を受けた後、市中行進、放水演習を行なった。建造物の近代化、石油等危険物の需要の増大、電気、ガス、石油器具の普及により年々複雑化する災害に対し、的確な判断と迅速な行動、熟練した機械操作など、指導者の号令のもとに一糸も乱れのない団体行動により、被害を最少限

## 町内中学校 各種大会で 好成績

昭和四十六年度北魚沼郡中学校の競技大会は、中越大会、県大会、出場をめざし、さる六月二十日から湯之谷会場で「郡中学校」部大会の上の部

学校名	氏名	種目	順位	記録
川口中	星野 裕二	一年二百米	一位	二九秒五
川口中	関 勝人	二年八百米	一位	二分二秒六
川口中	小宮山美鳥	二年四百米	一位	一分一秒一
川口中	永井 則之	一年 百米	二位	一三秒九
川口中	木村 進	二年二百米	二位	二八秒〇
川口中	江島 一夫	一年八百米	二位	二分三秒〇
川口中	喜多村直幸	八百米リレー	三位	四分四秒四
川口中	古田島裕子	走 高 跳	三位	一分四秒六
川口中	森山 秀夫	走 高 跳	三位	一分三秒一
川口中	浦井トモ子	三種競技	一位	一分七秒
川口中	田 中	三種競技	三位	一分六三秒

部名	種目	順位	記録
郡大会球技大会の部	卓球 男子	二位	
郡大会球技大会の部	卓球 女子	三位	
郡大会球技大会の部	排球 男子	三位	
郡大会球技大会の部	排球 女子	二位	

**おねがい**  
川口中学校正面玄関に、非常用緊急時の配置図が掲げられています。万のときは、その案内図によって適切な処置をとるよう、協力いたされたく、紹介してお願います。

## 県大会準優勝の 栄冠

川口中学校 体操クラブ  
八月十一・十二日に、新潟市で行なわれた県中学校総合体育大会で、郷土の栄冠をうけて出場した川口中学校体操クラブは、男子一般体操の部で、準優勝の偉業をなしました。県下三百七十余校の中から選ばれたこの演技は、町民体育祭のときにも公開されました。なお同校では、野球部が中越大会に進出して、長岡市立東北中学校をくだしています。陸上競技部も、郡大会で多数の上位入賞者を出しています。学力向上と体力増強の秋をむかえて、いっそうの栄光をおねがいます。

## 交通安全ポスターに応募

小宮山夏代さん  
優秀賞に輝く  
県企画開発部と県教育委員会が、春の全国交通安全運動の一環として、全県下小中学生を対象にポスターの募集をした。川口小学校でも五年生が応募したところ、多数の応募者の中から、小宮山夏代さんの「手を上げて正しくわらう」というポスターが、優秀作品に選ばれた。県知事賞、BSN賞の伝達に際して宮校長が、「交通事故の恐ろしさを知って、全校でいっそう交通のきまりを守ろう」と、こどもたちの自覚をうながす話しをされた。小宮山さんも、たかさんの賞品を手にしたが、「わたしの絵が交通安全に役立ってうれい」と、喜びを語っていた。

**交通教室さかん**  
山ノ相川で開催  
山ノ相川小学校(斉口部長、吉沢進、小藤正夫校長)では分校、林業指導員がこれに当生徒も含め、全校二十七日の児童生徒を対象に、山ノ相川分校で交通安全教室を開催した。山ノ相川分校の児童生徒を中心に、交通安全教室をひらいた。講師は、派出所の樋がしんけんだった。

